

舟着地域自治区 地域活動交付金審査着眼ポイント

項目	審査項目	評価項目の例
整合性	団体が掲げる目的に沿った事業であるか。	何を達成するための団体であるか。 規約の目的との整合性はいいか。
	団体が問題と感じていることと、今年度実施することが明確か。	事業が問題解決に繋がるか。 何を解決、改善するか明確か。
熱意	事業の取り組み姿勢にやる気を感じられるか。	事業が、パフォーマンス的になっていないか。 申請書とプレゼンテーションは、わかりやすく伝えようとする内容になっているか。
計画性	得るものの入手方法、活用手段、保管方法は明確で妥当か。	保管、設置、借用、実施など明確か。 管理体制が整っているか。 入手方法などは、購入かレンタルかなどの他方面の検討をされているか。
	実行計画は、団体の活動として無理なくできる事業になっているか。	自らの活動であり、具体性があるか。 実施内容やスケジュールは、十分に検討されているか。 収支計画は、申請団体の負担が大きすぎないか。
	関係機関、団体、所有者との調整が図れているか。	関係することやもの、人に対し、理解や許可が得られているか。 事業実施に対し、必要な人材が確保されているか。
継続性	組織体制は、継続できる見込みとなっているか。	団体の信頼性、発展性はあるか。 事業を長期的に継続、発展させる工夫があるか。
	得るものや得ることは、継続できる見込みとなっているか。	地域で有効的に利活用できる体制であるか。 一過性にならないか。 実績のある団体については、過去の検証がなされているか。
公益性	得るものや得ることは、特定の個人や団体の利益にならないか。	誰にどのように還元されるか明確か。 コミュニティ計画の目標から逸脱していないか。
	地域の実情や住民要望に対応しているか。 (住民が必要としているか)	住民に多くの理解が得られているか。 より多くの住民によい影響を与える事業であるか。